

JA全農ウィークリー

4
面

各地で「やさいの日」イベント

国産野菜の消費拡大に向けPR（園芸部、広報・調査部、各県本部）

2面

資源循環型ブランド

広島県本部の直売所「とれたて元氣市」で資源循環型ブランド「3-R」の商品を販売(2面)



東京・六本木の洋菓子店で提供している福岡いちじくを使った「いちじくのナポレオンパイパルフェ」(3面)



「やさいの日」に全農本所、各県本部がイベント(4面)

- 2 人権問題で全農グループ総務・人事関連講演会(総務人事部)
- 3 東京・六本木の洋菓子店で
福岡県産果実・野菜メニュー(福岡県本部)
秋田県で農業者向け青空講習会開催
(営農・技術センター)
- 5 初代「青森いきいきやさレディ」活躍
(青森県本部)
駅ビル運営会社と連携し地域振興・
農業支援(兵庫県本部)
カット野菜推進へ4社と協定(岡山県本部)
- 6 「農協たまご」「農協ヨーグルト」を発売
(営業開発部・酪農部・JA全農たまご(株)・協同乳業(株))
- 7 「防疫マニュアル」の重要ポイント①
(畜産生産部)

- 8 ラジオ番組「農泊しようよ!」
10月5日放送スタート(くらし支援事業部)
10月2日から「四季彩キッチン」が
近畿地区でも放送開始(広報・調査部)
JAタウンショップ紹介
JA紀南(和歌山県)

**Web版JA全農ウィークリーは
こちらから**



<https://www.zennoh-weekly.jp/>

**Web
限定**

長澤会長が豪雨・台風の被災地を訪問 (広報・調査部)

卓球・アジア選手権 日本産米でサポート (広報・調査部)

全国小学生一輪車大会でお米をPR
(広報・調査部)

ベネッセとの新たな取り組み (広報・調査部)

News!



資源循環型ブランド「3-R」立ち上げ

地域の環境を守り、地域の魅力を未来に伝える

広島県本部

広島県本部の直売所「とれたて元氣市」で販売する「3-R」ブランド商品



「3-R」は、畜産業で生まれた堆肥を農作物や飼料用作物を栽培する肥料として再利用（リサイクリング）する資源（リソース）循環型農業から生産された農畜産物や加工品で、広島県本部が認定します。この活動を繰り返す（リピート）ことで地域の環境保全につなげます。

広島県本部は8月31日、地域の魅力を未来に伝えるため耕畜連携を軸とした資源循環型ブランド「3-R」（さんあーる）の販売を始めました。

「3-R」
ブランドサイト
はこちら



3-Rロゴマークとブランド
コンセプト

RECYCLING
RESOURCE
REPEAT

広島県の美しい田園や里山の風景、そこで生まれる農畜産物と人々の暮らし。これらは地域にとってかけがえのない魅力であり、未来に残していきたい私たちの財産です。
未来へ向けて、これらを守っていくために、＜環境保全型農業＞に取り組むことが必要と考えています。農畜産物をいただくことがその地域の環境保全と文化の継承につながり、そこに生きる人たちの誇りとなるよう＜3-R＞を推進してまいります。

「3-R」は国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」にもつながるものであり、この取り組みの拡大で持続可能な広島県農業を目指します。
「3-R」は県内のJAなどの商品もブランド認定できます。今後はさらに商品を充実させ、広島県産農畜産物の付加価値を高めていきます。

News!



全農グループ総務・人事関連講演会を開催

ライン長らが反社会的勢力に対する対応・人権問題へ理解深める

総務人事部

自らの体験を踏まえた話も交えながら
人権・同和について講演する組坂氏



全農は8月29日、東京・大手町のJAビルで「全農グループ総務・人事関連講演会」を開き、本所各部のライン長、子会社の人事担当部長をはじめ、TV回線を通して各事業所・所場・県本部のライン長ら約300人が出席しました。

第1部の「反社会的勢力 対する対応研修会」では、暴力団追放運動推進都民セクターから講師を迎え、反社会的勢力との関係を排除 第2部の「人権・同和に関する講演会」では、講師の 部 落 解 放 同 盟 中 央 執 行 委 員 長 の 組 坂 繁 之 氏 か ら、「私の歩んだ道—これからの部落解放運動を考える—」というテーマで、自らの体験を踏まえた話も交えながら、部落解放運動の取り組みや、人権をめぐる国内外の動向、差別撤廃への課題についてお話をいただきました。

出席者は講演を通じて反社会的勢力に対する対応と、人権や差別の問題への理解を深めることができました。



東京・六本木の洋菓子店で県産果実・野菜メニュー

旬の「福岡・博多ブランド」を発信

福岡県本部

東京・六本木の洋菓子店「アモンド 六本木店」で9月13日から来年2月末まで、福岡県産の旬の果実、野菜を使用したメニューが提供されています。

「アモンド 六本木店」は、キーコーヒー(株)のグループ会社であるアモンド(株)が運営する洋菓子店です。喫茶を併設し、スイーツなどを提供しています。

使用される食材は福岡いちじく、福岡みかん、サラダ菜、福岡かき、博多万能ねぎ、博多あまおう、福岡キウイ、

博多のトマトなど福岡県を代表する農産物8品目です。(実施時期は品目によって異なります)。また、ハロウィーンやクリスマス時期には特別なメニューを提供します。

福岡県本部は、アモンド(株)と共同で、福岡県産農産物「福岡・博多ブランド」の魅力を観光客や訪日外国人に向けて発信していきます。



東京・六本木の繁華街の中心地にある「アモンド 六本木店」



福岡いちじくを使った「いちじくのナポリオンパイパルフェ」(提供は10月末まで)



秋田県で農業者向け青空講習会を開催

土壌断面を観察し土壌の大切さなど共有

営農・技術センター

全農はJA全青協、4Hクラブと生産振興に取り組んでいます。その一環として8月28日、JA秋田なまはげ青年部の安田淳一郎部長の圃場(秋田県湯上市)で地元農業者・JA職員24人を対象に青空講習会を開催しました。

青空講習会は、作物を栽培している圃場の土壌断面を観察しながら土壌の大切さや生産性向上に必要なことを農業者・JAグループ職員が共有し合う場です。一昨年(埼玉県川越市)、昨年(岡山県備前市)に引き続き3回目の開催です。

土壌断面について、講師の金子文宜氏(元全農技術主管)は、「深耕で作土を深くし、有機物を補給して団



安田部長のネギ栽培圃場で土壌断面を観察する参加者



安田部長のネギ栽培圃場の土壌断面

粒構造を作ることが生産性向上につながる」と呼び掛けました。講習会後に参加者から「自分の圃場も同様に調べて土壌改良に取り組みたい」「青年部とJAでまた講習会を行いたい」などの声があり、この講習会が農業者自らの意識改革の場となりました。今後このような講習会を水平展開し、農業者の自発的な施肥改善を支援します。

全農は、土壌診断を活用した施肥改善を農業者とともに実践することにより、手取り最大化を図っていきます。

各地で「やさいの日」イベント

国産野菜の消費拡大に向けPR

全農は8月31日の「やさいの日」を中心に、国産野菜の消費拡大の取り組みを全国各地で展開しました。

サッカーの試合に合わせ
販促品配布

山梨県本部は県、県中央会、県農畜産物販売強化対策協議会と連携し8月31日、甲府市内で行われたサッカーJリーグの試合に合わせ、山梨フルーツレディーによる販促品の配布など行いました。

【山梨県本部】



来場者に販促品を配布する山梨フルーツレディー（甲府市で）

ラジオの公開放送や国産野菜の調理実演・試食 東京・新宿高島屋、二子玉川 蔦屋家電

全農は全中とともに8月28～31日、東京・新宿高島屋で野菜の収穫体験など親子で楽しめる企画を行いました。31日には全農が提供するラジオ番組「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」の公開生放送を行い、ゲストのZeebraさんを交えた野菜トークは人気を集めました。

東京・二子玉川の蔦屋家電では8月31日、9月1日、シャープ㈱と共催で同社の調理家電を使用した国産野菜の調理実演・試食を行いました。【園芸部、広報・調査部】



野菜の収穫体験に参加し、シメジを収穫する親子連れ（東京・新宿高島屋で）



ラジオ番組「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」の公開生放送で野菜トーク（東京・新宿高島屋で）

鳥取県内JAの直売所で
特産品を試食宣伝

鳥取県本部はJAグループ鳥取の取り組みとして8月31日、県内JAの直売所3会場で、白ねぎの天ぷら、鳥取県特産の長芋「ねばりっこ」などの試食宣伝を行いました。

【鳥取県本部】



白ねぎの天ぷらを試食宣伝する生産者ら

「1億円産地づくり事業」
アピール

富山県本部と県野菜出荷組合協議会は8月30日、富山市の富山駅構内で、JAが主体となって生産振興に取り組む「1億円産地づくり事業」の品目であるジャガイモとタマネギのセットを配布しました。

【富山県本部】



通勤・通学客らにジャガイモとタマネギを配布する富山県本部職員（富山市で）

徳島大学生が
野菜の試食提供も

徳島県本部は8月31日、県や県内団体とともに北島町のショッピングセンターで、レシピやうちわなどを配布しました。また、徳島大学のインターンシップの一環としてJA大津松茂の直売所で、大学生が野菜の試食提供を行いました。

【徳島県本部】



野菜の試食提供を行う大学生（JA大津松茂の直売所で）

4種の夏秋トマトを試食販売

広島県本部は8月31日、広島市の直営産直市「とれたた元気市 広島店」で4種類の夏秋トマトの試食販売を行いました。カットトマトとトマトジュースの試食を用意しPRしました。

【広島県本部】



トマトの試食販売を行う広島県本部職員（広島市で）

News!



初代「青森いきいきやさいレディ」が活躍

青森県産野菜・花きを広くPR

青森県本部

試食を勧める「青森いきいきやさいレディ」



8月31日のやさいの日に青森市内で開いた「やさいフェス2019」では、県産野菜を使ったメニュー「トマトのパウンドケーキ」や「ぎゅりジャムのソーダ」などの試食を勧めるとともに、クイズ大会で会場を盛り上げました。

青森県本部は今年度、初となる「青森いきいきやさいレディ」を決め、県内外のキャンペーン・販売促進活動で、県産野菜・花きを広くPRしています。

News!



駅ビル運営会社と連携し地域振興・農業支援

イベントで県産農畜産物の販売など取り組む

兵庫県本部

地元野菜のジャンボピーマンやイチジクなどを販売したマルシェ



第1弾として、8月31日のやさいの日に、神戸SC開発が運営する姫路駅前の商業施設「ピオレ姫路」において、JA兵庫西と地元野菜を販売するマルシェや食育ソムリエによる野菜の魅力を伝える講演会を開きました。

兵庫県本部は、JR西日本のグループ会社で、駅ビルの運営などを行う神戸SC開発(株)と、地域振興・農業支援・鉄道沿線地域の活性化に向けた取り組みを始めました。

News!



カット野菜推進へ4社と協定

県産野菜の消費拡大と生産者の所得増大目指す

岡山県本部

協定書を締結した各社の代表者ら



カット野菜の需要が伸びる中、県産野菜の消費拡大と生産者の所得増大を目指します。同日、協定締結を記念し、女子大学生による「晴れ映えサラダコンテスト」を開きました。大賞に選ばれたサラダは、8月31日のやさいの日に県内の量販店で販売しました。

岡山県本部は8月28日、カット野菜を製造販売する4社と「100%岡山県産カット野菜の推進に関する協定書」を締結しました。

「農協たまご」「農協ヨーグルト」を発売

「農協シリーズ」の展開でおいしさと安心をお届け

全農グループは、「農協シリーズ」の新商品として、「農協たまご」「農協ヨーグルト」を発売しました。

【営業開発部・酪農部・JA全農たまご(株)・協同乳業(株)】

昭和47年に「自然はおいしい」をキャッチフレーズとして、「農協」を冠とした「農協牛乳」が誕生しました。以来、長年にわたり消費者の皆さまに評価をいただいています。

このたび、全農グループMD部会※のもとに、「農協シリーズ」の新商品として「農協たまご」「農協ヨーグルト」を開発

しました。これらの展開により、ブランド力の向上、さらなる信頼獲得を目指します。

※消費者ニーズ、実需者ニーズなどに迅速かつ柔軟に対応するため、2019年度から設置。食品メーカーや商社、関係団体などと連携し、国産農畜産物を原材料とした加工品などの商品開発を行う。MDはマーチャндаイジンの略。

「農協たまご」

JA全農たまごは9月1日、「農協たまご」の販売を始めました。

「農協たまご」は安心をお届けするための三つの理由として、①採卵日を表記、②生産農場を指定、③JA全農たまごが品質をチェックしています。

東急ストアをはじめとして、いなげや、マルエツなどで販売しています。また、フードデザイナーの中本千尋さんを起用し、レシピ提案を実施、今後、「農協シリーズ」で一体感のある売り場づくりを展開します。



あなたに
まっすぐ。
農協たまご

安心
採卵日
生産農場
品質チェック

▲フードデザイナーの
中本千尋さん

▲「農協たまご」ポスター

商品概要

商品名●農協たまご 内容量●10個、6個
販売店●東急ストア、いなげや、マルエツなど
発売日●2019年9月1日

「農協ヨーグルト」

協同乳業は9月30日、関東地区で「農協ヨーグルト」の販売を始めました。

「農協ヨーグルト」には、三つのこだわりがあります。

素材 生乳のおいしさを生かすため、特選牛乳規格の信州産生乳を100%使用しています。

製法 複数の乳酸菌の組み合わせで低酸味・ミルクのコク感を実現し、免疫活性化作用が高いとされる11/19-B1乳酸菌を配合。また、繊細な風味を維持するため、遮光性容器を採用しています。

生産者・JAとのつながり 協同乳業の獣医師がサポーターとなって酪農家とともに、牛たちの健康を支えながら良質な生乳づくりに取り組んでいます。

これらのこだわりから生まれた「農協ヨーグルト」を、まずはそのまま召し上がってみてください。



商品概要

商品名●農協ヨーグルト 内容量●400g
販売地域●関東地区(一部スーパーマーケット)
希望小売価格●280円(税抜)
発売日●2019年9月30日



「防疫マニュアル」の重要ポイント①

豚コレラの発生が続いています。JAグループ全体で防疫のさらなる強化を目指すべく「防疫マニュアル」の配布と講習会を実施しています。マニュアルの重要なポイントを紹介するシリーズの最終回は、畜産農家で使用した長靴・作業着の洗浄・消毒についてです。

【畜産生産部】

※家畜伝染病の発生地域においては、この限りではありません。

長靴・作業着の洗浄・消毒



長靴の洗浄・消毒

畜産農家の衛生管理区域に立ち入る場合は、農場のルールに従い農場指定の履物・衣服を使用するようにします。

※「防疫マニュアル」p.7も併せてご確認ください。

長靴の使用後は、必ず水で洗浄した後に消毒します。近くに水道がない場合は、消毒槽の手前に、水を張った洗浄用の水槽で靴底の汚れを落とします。

※「防疫マニュアル」p.19も併せてご確認ください。



長靴は消毒の前に水で洗浄する



近くに水道がない場合は水を張った水槽で靴底の汚れを落とす



作業着の消毒・洗濯

農家・施設などで着用した衣服を持ち帰る場合は、袋に詰めて持ち帰ります。持ち帰った衣服は、消毒液に1晩漬け置きした後に、洗濯します。

※動画「防疫管理の基礎知識—衣類洗濯編」も併せてご確認ください。



衣服は袋に詰めて持ち帰る



洗濯の前に消毒液に1晩漬け置く

消毒薬の種類・希釈方法などの詳細はマニュアル・動画をご確認ください。全農畜産総合情報サイト「JACCネット」から閲覧できます。



ご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

問い合わせ先: 全農 畜産生産部 推進・商品開発課 TEL: 03-6271-8236 FAX: 03-5218-2526

防疫管理の徹底したハイコープ種豚の輸送

豚コレラの発生地域が複数県に広がりを見せたため、全農と全農畜産サービス(株)はハイコープ種豚の輸送についても防疫強化に取り組んでいます。全農畜産サービス(株)は「ハイコープ種豚輸送防疫管理マニュアル」で、同社が運営する種豚場から種豚を出荷する際の防疫手順を定め、種豚の積み込みや積み下ろしを行う関係者にもご協力いただき、安全・安心なハイコープ種豚の供給に取り組んでいます。



輸送車両の燻蒸消毒



輸送車両の消毒

ラジオ番組「農泊しようよ!」 パーソナリティーが実体験し、農泊の良さ紹介

10月5日
TOKYO FMで
放送スタート

全農が提供するラジオ番組「農泊しようよ!」が、関東地区で10月5日から放送を開始します。【くらし支援事業部】

「農泊しようよ!」は、農泊を知ってもらい、興味を持ってもらうための番組です。農泊とは、農山漁村で日本ならではの伝統的な生活体験や地元の人々との交流を楽しむことができる滞在型旅行のことで、その良さを「泊まる」「楽しむ」「味わう」といった切り口で紹介していきます。

番組では、パーソナリティーの川瀬良子さんが各地の農泊を実体験し、感じたこと(「旅行」との違い、「農泊」の良さなど)をレポートしていきます。

た、農泊の魅力を語れるゲストに出演いただき、農泊の多面的な楽しみ方

や各地の取り組みなどを紹介し、農泊を盛り上げていきます。

番組の概要

1. 番組名: 農泊しようよ!

2. 放送局: TOKYO FM

※関東ローカルでの放送ですが、スマートフォンアプリ「WIZ RADIO」を使えば、全国どこからでも聞くことができます(無料)。

ダウンロードはこちらから▶▶▶

3. 放送日時: 毎週土曜日 午前9:55～10:00

4. パーソナリティー: 川瀬良子



パーソナリティーの
川瀬良子さん



10月2日(水)から

「四季彩キッチン」が近畿地区でも放送開始【広報・調査部】

JAグループ全国4連は、関東地区とBS放送でテレビ番組「四季彩キッチン」を提供中ですが、10月から近畿地区でも放送が始まります。

番組では、林修先生が「旬の食材」を入りに日本の農業の「いま」を紹介します。ぜひご覧ください。

放送日時

フジテレビ(関東地区)
毎週月曜21:54～22:00

BSフジ
毎週水曜22:55～23:00

関西テレビ(近畿地区)※10/2から
毎週水曜21:54～22:00



JAタウン |

検索
クリック

JA紀南(和歌山県)



JAタウンは
こちらから



紀南みかん「天」(Sサイズ) 5kg
＜10月上旬発送＞ ……4500円

本州最南端のJA紀南。温暖な気候に恵まれ、多くのかんきつを栽培しています。

紀南みかん「天」は、「こだわりグループ」で生産されているJA紀南ブランドの温州みかんで、早い時期からマルチ被覆をし、高糖度のみかんの生産に取り組んでいます。味は常にトップクラスを目指して、出荷時には糖酸度センサーを使用し、高いレベルでの味の統一に努めています。天みかんは年末にかけて「木熟みかん天」へ移り、甘味が増してきます。

JA紀南では梅の生産も盛んで、5～6月には青梅(小梅・南高梅)も出荷しており、人気のピンク色のパープルクイーン(小梅)はJA紀南オリジナル商品です。この他にも自社工場で製造した梅干しや、その他の加工品もそろえていますので、ぜひこの機会に、JA紀南の商品をご賞味下さいませ。

JA全農のインターネット ▶ご注文は <http://www.ja-town.com>

ショッピングモール ▶お問い合わせは shop@ja-town1.com

※本誌を通じていただいた注文などで取得した個人情報は、商品等の発送にのみ使用します。



『JA全農ウィークリー』の
ツイッターはこちら



私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。